

ゆるがキャラが地域にもたらす効果 厚木市のケース

長澤 駿 (21211252sn@tama.ac.jp)

厚木市のゆるキャラ

厚木市には、厚木市を活性化させる目的で 2011 年に作られたあゆコロちゃんというマスコットキャラクターがいる。そのキャラクターを作ったことで地域には効果があるのか、どんな効果があるのかを考えていく。

ゆるキャラグランプリ

ゆるキャラグランプリというのは、全国に存在するゆるキャラを人気順に順位を決めるものである。投票はパソコンから誰でもすることができる。投票期間中は一日一票まで毎日投票することができる。

厚木市では、ゆるキャラグランプリで上位を獲得するためにさまざまな活動に取り組んでいる。中でも最も力を入れていたことは、駅前で投票を呼びかけることである。投票期間中は、毎日のように駅前呼びかけ、地元の人々に愛されるように努力をした。また、ブログや市のホームページなどでも積極的に呼びかけを行った。

そして、2012 年は 865 エントリー中 9 位、2013 年は 1580 エントリー中 6 位という成績をおさめた。これをきっかけにあゆコロちゃんや厚木市の知名度は大きく上がったと言えるだろう。また、テレビやイベントに出演したことも知名度を上げる要因になったと思われる。

観光客数

ゆるキャラグランプリをきっかけにあゆコロちゃんと厚木市の知名度は上がったと考えられるが、厚木市には直接的にどのような効果があるのか。それは観光客数の推移に表れている。2011 年の観光客数は 309 万 2 千人であったが、あゆコロちゃんの知名度が上がった 2012 年は 324 万 8 千人と増加している。宿泊客数と日帰り客数を別々に見てもどちらも増加している。宿泊客数が増えたのは、厚木市の知名度が上がったことにより、温泉などの観光地に宿泊する人が増えたと考えられる。日帰り客数が増えたのは、あゆコロちゃんも出演する厚木市内のイベントを多数行ったことによるものと考えられる。

考察

あゆコロちゃんがゆるキャラグランプリやテレビ、CM、イベントなどに出演することで知名度が上がるとともに厚木市の知名度も上がっていった。知名度が上がることにより、厚木市の魅力などに気づく人が増え、観光客数のぞうかという直接的な効果をもたらした。

この結果からゆるキャラは、その地域に大きな効果をもたらすということが言えるだろう。